

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：社会福祉法人山王平成会上永谷西 保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：武井美恵子	定員（利用人数）：78名
所在地：神奈川県横浜市港南区上永谷6-8-3	
TEL：045-845-0620	ホームページ： http://kaminagayanishi.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2019年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人山王平成会	
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：6名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：22名 管理栄養士：1名
	看護師：1名 栄養士：2名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	1歳児室 予備室
	2歳児室 事務室
	3歳児室 厨房
	4歳児室 5歳児室

③理念・基本方針

<理念>
子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域との連携を図り子どもの発達を促します。

<基本方針>
法人理念の基、子どもの健康と安全を基本にし、情緒の安定した生活が送れるよう環境を整備し、自己を十分に発揮しながら活動出きるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。

<保育目標>
●いきいきと遊べる子ども
●自分も周りの人も大切に思える子ども
●自分で考え行動できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

<上永谷西保育園の特徴的な取り組み>
●四季折々の自然に触れる機会を大切にしています。

- 解放感を味わえるよう水・砂・泥などに十分に触れ楽しむ場を大切にしています。
- こどもたちが「また、明日も保育園に行きたいな」と思える保育園
- こどもたちがのびのびと遊び、温かい雰囲気のある保育園、そんな保育園であってほしいと思います。
- 自然に恵まれた保育園です。ひとりひとりの子どもたちの発達の様子や気持ちを受け止め、共感しながら見守る姿勢とともに、丁寧に保育に取り組んでいます。
- 子どもたちが様々な体験を積んでいく中で、自信をもち、自ら行動しようとする気持ちを育てながら、地域支援活動には力を注ぎ、地域との深い繋がりを築いております。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年06月25日（契約日） ～ 2021年12月02日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回（年度）

⑥総評

《上永谷西保育園の概要》

●上永谷西保育園は、平成31年4月に横浜市立上永谷西保育園から社会福祉法人山王平成会（以下、法人という）が移管を受け、民営の保育園としてスタートした保育園です。設立法人は、秋田県を本拠地とし、現在、秋田県に2園、横浜では小規模保育事業A型の「阿久和キッズ」を加えて4園の保育園を展開し、法人本部に横浜統括と秋田統括を設置し、各事務長を配して運営に当たっています。法人の保育方針は四季折々の自然に触れる機会を大切に、解放感を味わえるよう水・砂・泥等に十分に触れ、楽しむ場を大切に保育を行っています。自然に親しみ、子どもたちが「また、明日も保育園に行きたいな」と思える保育園、子どもたちがのびのびと遊び、温かい雰囲気のある保育園、そのような保育園を目指しています。

●上永谷西保育園は、静かな戸建ての住宅地の中に位置し、現在、2階建ての新園舎の建設中です。新園舎では、保育室は全て1階に集中し、園庭への出入りから災害時の避難にも配慮した設計で、2階は研修室等を設けて充実を図る等、子ども、職員が快適に過ごせるよう工夫されます。自然に恵まれた保育園として、その恩恵を生かし、子どもたちに楽しい園生活を提供しています。職員は、一人ひとりの子どもの発達、気持ちを受け止め・共感し、見守る姿勢を持ち、温かい保育を実践しています。そして、子どもたちに様々な体験を提供し、自信と行動意欲を育みながら丁寧に保育に当たっています。

◇特に評価の高い点

1. 【一貫した事業計画の展開】

●上永谷西保育園の最も評価できる点として、中期計画から職員の個人目標まで一貫して連動されている点が挙げられます。中期計画は3年間で計画を立て、共通項目として「運営の視点」・「人材の視点」・「財務の視点」・「各園独自の目標」の4視点で構成され、これらが園の事業計画と関連付けられています。さらに、事業計画は職員の業務目標に連動し、個人目標ができないと、究極的には中期計画が成し遂げられない、日常的に今期の事業計画の達成如何に通ずる流れが明確にできています。職員には中期計画、園の事業計画は開示され、自由に閲覧できることから、職員自身の目標達成と園の事業計画の達成を有機的に理解している点は、詳細に向けて園運営に大きな成果をもたらされます。

2. 【働きやすい職場環境】

●労働環境、職場環境に取り組み、法人では、108日休暇から完全週休2日制を実施しています。また、残業等の業務軽減のため、ICT化の推進を図り、事務効率の向上と業務を行う時間の確保にも力を入れています。明るく働きやすい職場環境作りのため、有給休暇の取得促進、福利厚生充実、年3日の介護休暇等を進め、さらなる保育士の働きやすい職場環境作りの推進に期待が寄せられます。

◇改善を求められる点

1. 【ICT化の早期推進】

●ICT化の推進が必至ですが、全てがICT化ではなかなか省力化は進みません。綱目を絞って効果的に進める必要があります。例えば、保護者への周知に関する問題では、先ず知らせた足跡を残すことが重要であり、聞いていない、知らないということがないことが大切であり、ICT化により改善も期待できます。半面、ICT化の推進により、職員の業務の上積みも否めなく、業務が増えたというケースも多く聞き及びますので、効果的な活用の一考を期待いたします。

2. 【アフターコロナの体制作り】

●アフターコロナ（新型コロナウイルス感染症が流行した後の社会の在り方を問う文脈での表現）については、新型コロナウイルス禍は不可逆的な変化をもたらし、感染症の存在を前提とした生活を今後も継続していかななくてはならないことが考えられます。園生活、行事、プログラム等、再構築するには、初めにアプローチした以上に手間がかかることが考えられます。園でも現状を踏まえた再アプローチを考え、新たな構築作りに取り組み、新しいプログラム等を作り、体制の活性を図っていかれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

事業者コメント

施設名：上永谷西保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

民間移管3年目となり、園運営が少し軌道に乗り出したところでの受審となりました。

2年目にコロナ禍ということで通常の保育が出来ず、工夫しながら取り組んだことを含め、第三者評価について職員間で話し合いを持てたことは、逆に職員間の連携を強められたのではないかと思います。

自己評価項目を職員間で一つ一つ確認・話し合いながら行ったことで、それぞれの考え方、理解度等のばらつきが分かり、改善につなげられたことは大きな前進となりました。

保護者アンケートでは、厳しいご意見をいただき、園長自ら振り返りと改善を求められていると認識し、今後の園運営に生かしていければと考えております。まだまだ不備な点がありますが、今後の進む方向が見えてきた良い機会と捉え、さらに子ども、保護者にとってより良い施設となるよう取り組んでまいります。

<評価後取り組んだ事として>

1. ICT化整備の取り組みを行う。
2. 「保育の見える化」に取り組む、職員と保護者とのコミュニケーションにつなげる。
3. 保護者アンケートの改善点・自由意見の内容を職員間で確認をし、振り返り、検討、改善に向けて取り組む。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり